

平成27年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸地区音声・音響・超音波応用研究グループ (支援期間：平成26年度～平成27年度)			
大学名	所属	氏名		
金沢大学	理工研究域 電子情報学系	○三好正人		
福井大学	工学研究科	○森 幹男		
富山大学	大学院理工学研究部 (工学)	○佐藤雅弘 参沢匡将		
注1. 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。 注2. 所属 (その他の機関については職名も) については、平成28年3月末現在を記入。				
その他の機関の構成員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	金沢工業大学	情報フロンティア学部	教授	山田真司
	富山県立大学	工学部	講師	中井 満
	石川工業高等専門学校	電子情報工学科	教授	金寺 登
成果概要	<p>平成26年度は、11月に金沢工業大学のアントレプレナーゼラボ・イノベーションホールにおいて、第5回北陸合同音響セミナー「人の歌声・機械の歌声」を開催した。近年、産業的・学術的に注目されている歌声合成技術について、ヤマハ株式会社の VOCALOID 開発者と金沢大学で歌声研究に取り組んでいる大学教員にそれぞれ講演頂き、更には音楽心理学を専門とする研究者を交えた歌声合成技術の発展や人間の歌声理解に向けた今後の取り組みについてパネルトークを行った。講演会には研究者・学生・一般市民130名の参加者があり、多くの質問が飛び交う盛況な会となった。また、3月には、金沢市のホテル金沢において、「音」を通じた他分野交流を目的とした第6回北陸合同音響セミナー「分野交流講演会」の開催した。このセミナーでは、北陸三県において普段は交流の少ない学術分野において音の研究に取り組んでいる研究者をお招きし、分野交流を活性化させ、更には分野横断型の音に関する新しい研究課題の発見を目指した。</p> <p>平成27年度は、12月に金沢大学サテライトプラザにおいて、第7回北陸合同音響セミナー「ビギナー成果発表会」を開催した。北陸地区以外から音声・音響学の分野において活躍する若手研究者 (博士後期課程学生) 4名をお招きし、各人の研究内容や北陸地区の学生に向けた研究の面白さ・難しさについてご講演頂いた。また、同会では、北陸地区の学生によるポスター形式の研究発表会も開催し、前述の4名の若手研究者と発表者との間で研究交流を行うことができた。セミナーには研究者・学生・一般市民45名の参加者があった。また、3月には、金沢市内において、第8回北陸合同音響セミナーの開催した。このセミナーでは、北陸地区において過去に音研究に取り組まれた研究者、或いは近年に北陸地区で音研究を開始した研究者をお招きし、「北陸地区に必要な音の研究」について議論した。</p>			
獲得した外部資金	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 挑戦的萌芽研究 (H28～H30), インプラント型補聴器の開発, 森 幹男 (代表), 3,510千円 ・H28 MP 企業ニーズ解決試験 (H28), 骨伝導メガネの開発, 森 幹男 (代表), 1,700千円 ・H28 基盤研究 (C) (一般) (H28～H30), 大学間共同の高大連携と評価手法の開発研究による高大接続入試への提案, 森 幹男 (分担) ・H28 県内大学等連携研究推進事業 (H28～29), 『恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク』を核とする新たな九頭竜川沿いジオツーリズムの可能性を探る, 森 幹男 (分担) 			